

第4回 松本市議会
ステップアップ市民会議

平成24年12月20日

松本市議会

第4回松本市議会ステップアップ市民会議 次第

日 時：平成24年12月20日（木）
午後2時から

場 所：議員協議会室

1 開 会

2 議長あいさつ

3 提言に対する取組み状況の報告

4 意見交換

5 閉 会

松本市議会ステップアップ市民会議委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏	名
飯塚	則之
池野	理恵
石曾根	一能
大下	京子
大場	芳郎
鎌田	哲也
小林	修
坂井田	金一
高橋	百喜
瀧	文雄
田中	秀長
能勢	桂介
藤澤	久敏
村山	忠勇
山田	榮一
吉田	満
米沢	光夫

松本市議会ステップアップ市民会議 出席議員名簿

役 職	氏 名
議 長	柿 澤 潔
副 議 長	白 川 延 子
議会運営委員長	小 林 弘 明
議会運営副委員長 議会だより編集委員長	犬 飼 信 雄
議会だより編集副委員長	小 林 あ や
政策部会長	村 瀬 元 良
政策副部会長	近 藤 晴 彦
広報部会長	上 條 俊 道
広報副部会長	阿 部 功 祐
交流部会長	南 山 国 彦
交流副部会長	宮 坂 郁 生

ステップアップ市民会議からの提言への取組状況

担当	提 言	検討結果・検討状況
議会だより編集委員会	<p>〈第1分科会〉</p> <p>② 市民側より「私はこう思う。」など紙面に市民を参加させていったらどうか。</p> <p>・議会傍聴記・議会への要望・議員対談・視察報告・etc</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>議会報告会での市民意見や傍聴者アンケートで出された質問に答えるQ&Aなどを掲載して市民意見を反映させるようにしています。今後も出来るだけ掲載するように工夫します。</p> <p>〈検討結果〉</p> <p>機会を捉えて、議会報告会参加者や議会傍聴者へのアンケートなどに寄せられた意見・感想のコーナーを掲載します。</p>
	<p>③ 広告を掲載して紙面を増やしたらどうか。</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>紙面を増やす必要があれば、必要な費用を予算化し対処したいと考えます。広告収入を得ることについては、今後の検討課題とします。</p> <p>〈検討結果〉</p> <p>広告収入を得ることは現状では必要性がないと考えます。</p>
	<p>⑥ アニメ的な描写も入れたらどうか。</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>必要に応じイラスト等を入れていきます。松本市のイメージキャラクター「アルプちゃん」の登場を、掲載記事の内容により検討します。</p> <p>〈検討結果〉</p> <p>アルプちゃんや写真をより多く掲載するようにしました。更に読み易い紙面になるように、アルプちゃん・イラスト・写真等を活用します。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
議会だより編集委員会	⑧ 編集委員会に住民を入れたらどうか。	<p>〈取組方針〉</p> <p>多くの市民から「議会だより」に対する意見・要望を出してもらう工夫を行い、編集に反映させていきます。</p> <p>〈検討結果〉</p> <p>議会報告会でのアンケートに、「議会だより」への意見をいただく欄を設けました。今後も様々な機会を捉え、「議会だより」に対する意見・要望を把握し、編集に反映させていきます。</p>
政策部会	<p>〈第1分科会〉</p> <p>④ 一問一答で判り易い議論をする議会</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>現在本会議一般質問で採用している総括質問方式は、大局的な観点からの議論、体系的な政策論争が期待でき、理事者側からも十分に検討した答弁が期待できることから、一問一答方式をとらず現行の方式を継続します。</p> <p>ただし、質問の順に対する答弁の順が食い違うために、傍聴者に分かりにくい面があるのは理解できます。質問と答弁がきちんと対応するよう、質問通告のあり方や答弁の順などについて、分かりやすいあり方を検討し、工夫をしていきます。</p> <p>〈検討状況〉</p> <p>質問通告については、発言通告書の記載（見出し記号）を統一し、具体的でわかりやすい記載に努めるよう各議員に周知し、議員間で共通認識を図りました。</p> <p>答弁の順については、市長答弁のすぐ後に関連する部長答弁が続くような答弁順となるよう、理事者側に要請することを検討していきます。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
<p>政策部会</p>	<p>〈第2分科会〉 3-2 常任委員会の委員任期は実質4年 専門性と責任性を高めるため、2年ごとに半数の委員 が入れ替わるよう図る。</p>	<p>〈取組方針〉 常任委員会の委員任期については、議会改革の検討項目の一つとして、平成24年度中に結論を出すよう検討中です。</p> <p>〈検討結果〉 松本市議会では、常任委員の任期は現状1年としています。検討した結果、専門性を高める観点から2年任期にすべきとの議論もありましたが、次の理由により現行の1年任期を継続することになりました。</p> <p>(1) 4年間の議員任期中により多くの常任委員会に所属することができ、市政全般を把握し、発言できるメリットがある。</p> <p>(2) 現状の1年任期でも再任により複数年所属ができ、専門性を深められる。</p> <p>(3) 1年任期でも、期数を重ねるごとに専門性は深まる。</p>
	<p>〈第2分科会〉 3-3 監査体制の強化と監査期間の延長 ア 決算特別委員会は常任委員会に改変し、全議員で構成する。</p>	<p>〈取組方針〉 ア 決算審査のあり方は、現状の決算特別委員会での審査でよいかと考えます。 なお、この決算認定とは別に決算特別委員会審査で集約された要望・意見については意見書として取りまとめ、市長へ提出するとともに、その報告を求めることについて現在検討しています。 また決算審査を充実強化させるため、決算特別委員会委員を増員することも検討しています。 さらに、これらの新たな取組みとともに、十分な審査日程を保障するため、現在4日連続で行われている審査日程についても、あり方を検討しています。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
政策部会		<p>〈検討状況〉</p> <p>決算審査の充実強化のため、次の方針を部会内で集約しました。今後、平成25年度の実施を目指し、具体的事項を検討し、議会として決定していきます。</p> <p>(1) 決算特別委員会委員を増員する。</p> <p>(2) 十分な審査日程を確保する。</p> <p>また、意見書提出については、委員長報告を充実させることをもってその趣旨を達成することが可能と考えています。</p>
広報部会	<p>〈第1分科会〉</p> <p>⑨松本市「子ども議会」の開催を希望（年1回程度）</p> <p>市の将来を担う子どもたちが、市役所・市議会の仕事や仕組みを勉強し、体験することで、政治を身近にとらえてもらい、まちづくりに進んで参加しようとする意欲を育てる。</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>開催の是非や、開催方法など調査・検討をしていく。</p> <p>〈検討状況〉</p> <p>「べっぴん市子ども市議会」、「たけおのこども議会」など、子ども議会の先進事例の開催状況・内容等の調査を行ってきました。</p> <p>また、教育現場の声を聞くため、松本市校長会に市議会との懇談の申し入れをしています。</p> <p>さらに、高校での現代社会や政治経済の授業の中で、市議会が関わるができないか（議会出前講座や議会の傍聴等）、担当の先生と意見交換を行っています。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
広報部会	<p>〈第2分科会〉</p> <p>1-1 議会主催の市民集会 (タウンミーティング 年1回)</p> <p>ア 主に市民同士が政策討論を展開する場。議案に採用されることを望む。生の話も出されるだろうが、それは多様な市民の討議で調整される。</p> <p>イ 司会役は、市民と議員の両立て</p> <p>ウ 行政側の主催も考えられるが、それでは具体的に執行している事業にとらわれすぎてしまい好ましくない。</p> <p>1-2 議会主催のミニ市民集会</p> <p>ア ミニ市民集会とは、市民集会の簡易版 年2回+臨時会</p> <p>1-3 議会は、これら市民集会を議会審議の前段階として活用する。</p>	<p>〈取組方針〉</p> <p>市民の方から、自由な意見やご提言を受け場として議会報告会を開催しており、参加者のご意見等を参考に、毎回見直しをしている。</p> <p>報告会の見直しの中で、これまでの議員と市民との情報交換や意見交換だけでなく、参加されている市民同士が討論を行ったり、そこに議員が参加するような方法を取り入れることも検討していく。</p> <p>〈検討状況〉</p> <p>11月22日に安原地区、第一地区、内田地区の3カ所で開催した議会報告会において、議会に対する質問だけでなく、市の政策全般についても、参加者の皆さんが自由にご意見を言っていただける機会を設けました。</p> <p>次回以降も、政策的な内容についても、自由闊達な意見の交換ができるよう、そうした機会を継続して設けていきます。</p> <p>また、各常任委員会が政策提言を目的に取り組んでいるテーマ研究の内容や、開催地域における課題なども報告会において取り上げることや、いただいた意見のフィードバックの方法なども検討していきたいと考えます。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
<p>交流部会</p>	<p>〈第3分科会〉 「議会への手紙」を創設する。 ・公共施設への設置、「議会だより」への綴じ込みなど、積極的な周知。 ・市民目線での回答になるように、回答内容の検討をできる仕組みづくり。</p>	<p>〈取組方針〉 市民の様々な意見を聴くためには、有効な手段と考えます。 実施するためには、その方法や議会として市民に分かりやすい回答をするための仕組みづくりなどの課題もあるので、実施に向けて、検討していきます。</p> <p>〈検討状況〉 実施方法について検討を重ねており、まずは、回答の仕組みについて素案をまとめています。 今後は、いただいた意見に対して回答を作成するシミュレーションを行い、更に検討を進めます。</p>
	<p>〈第3分科会〉 お茶会などの気軽な交流を議員と委員と一緒に開催する。 議会と接する機会の少ないと思われる世代の方や同じ立場・問題意識を持つグループとの交流の場の検討</p>	<p>〈取組方針〉 議会として交流を行うためには、相手方の選定、会議のあり方など様々な課題があると考えます。他市議会の交流の事例なども研究し、検討していきます。</p> <p>〈検討状況〉 議会として交流を行うにあたっては、議員全員が共有すべき課題に係わる団体が適当と考えています。現在行っている事業の見直しや交流のあり方を含め、議会への市民参加及び市民連携の中で検討しています。</p>

担当	提 言	検討結果・検討状況
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">交流部会</p>	<p>〈第3分科会〉 議員が講師をするという形ではなく、市民が知りたいテーマを提示し、議会側が担当の議員をマッチングし、議員と市民が「一緒に学ぶ会（仮称）」という形の学習会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会から適任の議員を紹介するマッチング・システム ・議員個人の得意分野のリストアップ 	<p>〈取組方針〉 「議会出前講座」など類似した事業を行っているので、その実施方法の見直しを含め、検討していきます。</p> <p>〈検討状況〉 「交流の場の検討」と合わせて、議会への市民参加及び市民連携の中で検討しています。</p>